



月刊 織本

GEKKAN ORIMOTO

6

2014年6月1日 Vol.238
 発行 医療法人財団 織本病院
 印刷 〒204-0002
 東京都清瀬市旭が丘 1-261
 TEL 042-491-2121
 URL <http://www.orimoto.or.jp/>
 発行人 高木 由利



針槐 (ニセアカシア)

ふるさと

理事長・院長 高木 由利



5月の末からしとしと雨の日が増えてきました。静かな季節です。私は雨に濡れたあじさいが大好きです。

* * *

4月に医療界最悪の診療報酬の改定が行われ、クリニックも病院も、そして患者さん達も大打撃を受けました。どうして医療を受けることがこんなに大変になっていくのか疑問です。予防に力を入れること、在宅医療を充実させることなど表向きにはきれいな理由が付けられています。

織本病院は今年創立62周年を迎えるのですが、その歴史の中で初めて病院を大きく様変わりさせることになりました。2階病棟を一般病棟から療養病棟に変えたのです。私がこの決断をした根拠は、織本病院の理念“患者様に満足して頂ける医療を実践する”ことから考え出した“地域医療への貢献”を具現するためです。この清瀬の地域は在宅が難しいご家庭がたくさんあります。その方々に安定した入院生活をして頂くためには、どうしても療養病棟が必要だったのです。この決断をし実行委員会が夜な夜な行われる中で、心の和む職員によるコンサートが2つ行われました。1つは初夏のギターコンサート、もう1つは織本病院混声合唱団による遷延性意識障害者病棟のコンサート

でした。

ギターコンサートでは当院の箕輪専務理事と東京女子医大形成外科准教授の菊池雄二先生により懐かしい歌とギターが奏でられ、心が洗われるひとときでした。詳しい内容は後述されている専務の文章をお楽しみ下さい。遷延性意識障害者病棟のコンサートでは日本歌曲を中心とし、その中にシューベルトを2曲混ぜました。最後の曲、“ふるさと”のメドレーを歌ってい



る時、私はまた新たな発見をさせて頂いたのです。カラヤン指導のウィーンフィルハーモニーのCDを聴いても涙1つ出さない方々が、私達の合唱を聴いて涙を流されたのです。そしてまた、脳梗塞でほとんど寝たきりのある患者様が車椅子にもたれかかっていたはずなのに、私達がふるさとのメドレーを歌い出すと右手を振って、まるで指揮者のように起き上がったのでした。驚くべきことでした。この時私は、この2つのコンサートに共通点を見出しました。これらのコンサートは自分を誇るものでもなく、ただ私達が患者さん達に自分達の演奏を聴いて頂きたいと無心に練習を

重ね、ひたすら心を込めて歌いあげてきたこと。それが聴いて下さった方々の心の“ふるさと”に柔らかいさざ波を立てたのだと思いました。

理不尽な診療報酬の改定に心を乱した季節でしたが、私達医療従事者1人1人が、心から患者さんやご家族のことを考え医療を行った時、きっと皆様の心と私達の心の中にある“ふるさと”が大きく私達を包み込んでくれるような気がしてきました。

ギターコンサートの演奏者の方々、合唱団の皆さん、そして聴いて下さった多くの方々、本当にありがとうございました。

間に合わなかった ギターコンサート

専務理事・事務部長 箕輪 比呂志



5月10日、職員による第2回目のギターコンサートを2階病棟のデイルームで行いました。奏者は私と、昨年に引き続き、この企画に賛同して下さった菊池雄二先生です。菊池先生は、東京女子医大の形成外科准教授で月1回当院の当直を担当しているドクターです。形成外科が当直する日は、包丁で指をざっくり切ったり、顔に傷を付けてしまった方などの対応で大忙しです。

昨年、暑い盛りの8月10日に第1回目のコンサートを行った時、



入院されているご主人の奥様から「白いブランコ」のアンコールを頂きましたが、その時は実現できませんでした。今年はその「白いブランコ」と「風」「銀の指輪」「思い出の渚」「チャンピオン」等、1970年代の邦楽を中心としたプログラムを作りました。すると、奥様のリクエスト曲が演奏されることを知った入院中のご主人が、私だってリクエストしたい曲があるんだと奥様に伝えたそうです。その曲が井上陽水の「少年時代」でした。そこで早速、この曲もプログラムに入れました。しかしその後、ご主人の容体が急に悪化し、ベッドから起き上がれず意識状態もよくないことを聞きました。

丁度、このことを知った翌日が菊池先生との2回程しかないギターコンサートの練習日でしたので、私は菊池先生にこのことを伝え、「一緒に病棟のベッドサイドで歌いませんか？」と話しました。もちろん、菊池先生は2つ返事で引き受けて下さり、2人でギターを抱えてベッドサイドに行き「白いブランコ」と「少年時代」の2曲をギター伴奏で歌いました。あわてて作った楽譜はベッドの掛布団の上に置きました。奥様のご主人の手を握り締めて、リズムを

とりながら楽しそうに聴いて下さり、“まるで夢みたいです”と目をキラキラさせていました。演奏が終わり部屋に戻った時、お互いの目が潤んでいて、やっとの思いで歌い終えたことを知りました。「白いブランコ」はご主人と奥様の思い出の曲だったそうです。それから数日後、ご主人は天国に召されました。コンサートでお会いしましょうと約束していただけに、寂し

い気持ちでいっぱいです。5月10日、コンサートの当日、奥様にご主人の写真と共に演奏を聴きにきて下さいました。

コンサートにいらして下さった皆様、そして大学病院という第一線の診療でご多忙の中、この企画に賛同して頂いた菊池先生に心から感謝をしています。

当院で患者様に人気のメニューをご紹介します!!



ジャージャー麺

材料 (1人前)

冷凍ラーメン	200g	④	
豚ひき肉	30g	テンメンジャン	3g
エリンギ	30g	濃口しょうゆ	10g
長ねぎ	20g	砂糖	5g
にんにく	1g	中華あじ	0.5g
干し椎茸	1g		
茹でたけのこ	30g	ごま油	3g
		ラー油	0.5g
		白髪ねぎ	3g

作り方

- ① 干し椎茸は水で戻しておく。
- ② 戻した椎茸、エリンギ、長ねぎ、たけのこはみじん切りにする。
- ③ 別に4cm位にカットした長ねぎを千切りにして水にさらしておく。
- ④ 鍋にごま油を入れ、にんにく、豚ひき肉を炒める。②を入れ食材に火が通ったら④を入れ、仕上げにラー油を入れる。
- ⑤ 茹でてよく冷やし、水を切ったラーメンを器に盛り、④を乗せ、白髪ねぎを添える。



井上和広マネージャーからの ワンポイントアドバイス

- ★ 当院のジャージャー麺は、肉を減らしてエリンギを多く使用しているので、カロリー控えめでとってもヘルシーです。
- ★ 野菜のみじん切りはあまり細かくせず、食感を残すのがポイント!!
- ★ 今回はラーメンを使いましたが、うどんやそうめんも良く合います。

是非、おためしください。

栄養量 (1人前)

エネルギー	463 kcal
蛋白質	18.3 g
脂質	10.4 g
糖質	66.6 g
塩分	2.1 g
カリウム	656 mg
リン	195 mg
食物繊維	5.94 g

※ このレシピは一般食のものです。
治療食では分量・栄養量が異なります。

平成26年6月より

医療療養型病棟 オープンします

当院では平成26年6月より2階一般病棟32ベッドを医療療養型へと機能変更し、入院が必要な透析患者様や下記のような長期入院が必要な患者様の受け入れ体制の強化を図ります。

尚、3階の一般病棟はこれまで通り、急性期・在宅医療機関の後方支援機能の役割を担っていきます。

- 気管切開・人工呼吸器（Bi-PAPなどマスク式人工呼吸器も可）管理が必要な患者様
- 透析（HD・HDF）管理が必要で、入院療養を要する患者様
- 長期リハビリ療養のうえ、在宅復帰を希望されている患者様
- 医療区分2～3の患者様（区分1、生活保護の患者様については要相談）

◎ 病床機能変更

【平成26年6月より】

一般病棟 60床
遷延性意識障害者病棟 32床



一般病棟 42床
医療療養型病棟 32床
遷延性意識障害者病棟 18床

◎ 療養病棟の入院費用概算

医療費負担 + 食事代 + リース代 + 室料

- ① 医療費負担あり 15万円位 + 室料
- ② 医療費負担なし 10万円位 + 室料

4床室（6部屋）	0円
4床室（1部屋）	3,780円
個室（1部屋）	7,560円
個室（3部屋）	10,800円

第156回 腎疾患ゼミナール

正しい腎不全食をマスターしましょう⑤

腎臓内科：高木 由利

薬局からのフポイントアドバイス

『貧血のお薬について』 薬剤師：松尾 茂子

2014年6月26日（木）

午後1:00～2:00

オリモトホール（織本病院4F）

参加費無料



糖尿病教室のご案内

● 6月3日（火）

糖尿病の検査 ～血糖測定をしてみよう～

臨床検査技師

● 7月1日（火）

食事療法 ～塩分・脂質について～

管理栄養士

会場：第1会議室（織本病院4F）

時間：午後1:00～1:30

参加費：無料

予約：不要（直接会場へお越しください）